839
4.10.17

福県医発第1970号（地）
令和４年10月14日

各医師会長　殿

福岡県医師会
会長　蓮澤浩明
（公印省略）

後期高齢者健康診査の受診率向上に向けた取組みについて

時下　貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

福岡県後期高齢者医療広域連合（以下、「広域連合」）では、生活習慣病の早期発見に加えて、フレイル予防を目的に後期高齢者健康診査（以下、「健診」）を実施しておりますが、本県の受診率は全国に比べ著しく低い状況であります。

このため、広域連合では、健診に関する啓発、健康状態不明者への取組み、健診検査項目の充実及び特定健診・がん検診との同時実施等、健診受診率向上に向けた取組みを行っているとのことですが、今般、広域連合より、さらに多くの被保険者に健診を受診していただけるよう、かかりつけ医から健診未受診者への受診勧奨について協力依頼がありました。

本件につきましては、令和４年10月６日の第22回全理事会で協議の結果、各医師会へ周知依頼することを承認いたしました。

つきましては、貴会会員への周知方につきご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

地域保健担当理事　淡河喜雄
会長　島田昇二郎

４福高医健第９０号
令和４年９月２２日

公益社団法人福岡県医師会
会長　　蓮澤　浩明　様

福岡県後期高齢者医療広域連合
広域連合長　　二場　公人

後期高齢者健康診査の受診率向上に向けた取組みについて（依頼）

平素より当広域連合の事業に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当広域連合では、生活習慣病の早期発見に加えフレイル予防を目的として、後期高齢者健康診査を実施しております。

福岡県の後期高齢者健康診査の受診率は、全国に比べ低い状況にあります。そこで、当広域連合では、健診に関する啓発や健康状態不明者への取組み、健診検査項目の充実、特定健診・がん健診との同時実施等、健診受診率向上に向けた取り組みを行っているところです。

今後、更に後期高齢者の方々に健康診査を受診していただけるよう、貴医師会の先生方から、75歳以上でまだ後期高齢者健康診査を受診してない患者様へ受診を勧めていただきたくお願い申し上げます。

記

１　事業名
後期高齢者健康診査

２　現状・課題
別紙のとおり

３　依頼内容
①貴会員への周知
②かかりつけ医から患者様への後期高齢者健康診査の受診勧奨

４　参考資料（別添）
後期高齢者健康診査のご案内（チラシ）
※福岡県後期高齢者医療広域連合ホームページからダウンロードできます。

《お問合せ先》
〒８１２－００４４
福岡市博多区千代四丁目１－２７福岡県自治会館５階
福岡県後期高齢者医療広域連合
健康企画課健康企画係　藤木
電話　０９２－７０７－３０２９
ＦＡＸ　０９２－６５１－３１２０
メール　tekisei@fukuoka-kouki.jp

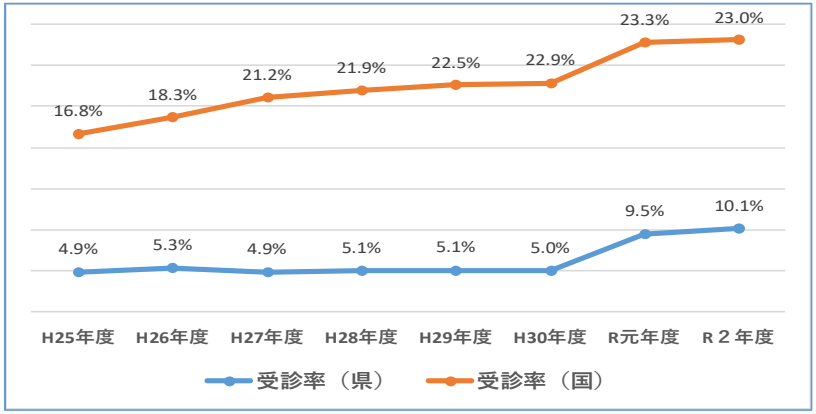
後期高齢者**健康診査の受診率向上**を目指します。

後期高齢者健康診査は、生活習慣病の早期発見に加え、フレイルチェックを行い、必要に応じて医療や介護予防等につなげることを目的としています。

◎健診結果から必要な人（未受診者や治療中断者等）を医療につなげたり、生活習慣病治療中であるが医師の指示を守れていない高齢者への保健指導や、フレイルリスクにかかる保健指導を行っています。

1　後期高齢者健診の現状と課題

①受診率の経年変化



②問題・課題

・全国に比べ健診受診率が低い
・要介護認定率、１人当たり介護給付費（居宅・施設）が国よりも高い。
・健康状態不明者（医療・健診・介護サービスにつながっていない者）が約3．5万人いる。

2　福岡県後期高齢者医療広域連合の取組み

○健診に関する啓発

・ホームページや広域連合・市町村広報誌への掲載、講演会での周知
・医療機関に配布する保険証更新案内ポスターへの掲載　等

○健康状態不明者への取組み

・医療・健診・介護サービスにつながっていない高齢者の健康状態を把握し、医療や健診等、必要な支援に繋げる。（「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」にて実施）

○その他

・利便性の向上（市町村が実施する特定健診・がん健診との同時実施の呼びかけ）
・健診検査項目の充実（HbA1c、尿潜血、尿酸、血清クレアチニン追加（H28年度～））
・対象者拡大（R元年度～生活習慣病治療中の方、R4年度～有料老人ホーム・軽費老人ホーム入居者）

◆医師会の先生方にお願いしたいこと

かかりつけ医から患者様へ、健診受診を勧めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

人生100年時代の健康づくり

後期高齢者健康診査のご案内

生活習慣病やフレイル（※）の早期発見のため、
年に１回は、健康診査を受診しましょう！

（※）フレイルとは加齢により心や身体が弱っている状態のことです。

- ７５歳以上の後期高齢者医療の被保険者の方は後期高齢者健康診査が５００円で受診できます。
  （65 歳以上の障害認定の方も含みます。）
  ※ただし、長期入院及び一部の施設入所中の方は除きます。

- 定期的に病院を受診している方は、かかりつけ医へご相談のうえ、受診ください。

- 健康診査でお体の状態が確認できます。また、必要時にはかかりつけ医の指示のもと、市の保健師や栄養士による保健指導やフレイルの相談を受けることができます。

健康診査を受けるには・・

※健康診査の受診票は、福岡県後期高齢者医療広域連合から対象者の方に送付しております。
※健康診査を受診する時は、「被保険者証」「受診票」「500 円」が必要です。
※受診票を紛失した等により再発行を希望する場合は、下記の問い合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】　福岡県後期高齢者医療広域連合　お問い合わせセンター
〒812－0044　福岡市博多区千代４丁目１番 27 号　　TEL 092651－3111

健康診査でわかること

「治療中だから」
「今は、なんともないけど・・」という方も、自分の健康状態を確認しましょう！

項目	ポイント
問診	**「後期高齢者の質問票」** 質問票でフレイルの危険性を確認できます。
身長・体重	**「肥満より、やせに注意」** やせはフレイルをまねきます。
血圧・脂質 ●コレステロール ●中性脂肪	**「脳卒中や心筋梗塞の危険性」** 高血圧や脂質異常は動脈硬化につながり、脳卒中や心筋梗塞などをまねきます。
糖 ●空腹時 ●HbA1c　●尿糖	**「糖尿病の重症化に注意」** 血糖が高いと糖尿病のおそれがあります。
肝機能 ●AST　●ALT ●γGTP	**「お酒だけでなく、薬の副作用の可能性も」** たくさんの薬の服薬による副作用で、肝臓に負担がかかります。飲酒しない人も注意が必要です。
腎機能 ●クレアチニン値 ●尿蛋白　●尿酸	**「最悪の場合、人工透析に」** 糖尿病や高血圧の人は特に注意が必要です。

後期高齢者健康診査では、フレイルリスクを確認できます。

□	６ヶ月間で、２～３Kg 以上の体重減少がありましたか
□	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか
□	この１年間に転んだことがありますか
□	ウォーキング等の運動を週に１回以上していますか
□	週に１回以上は外出していますか

チェックしてみましょう

フレイルに関する項目です。
フレイルの可能性がある人も早期に対応することで、元の状態に戻れます。

「後期高齢者健康診査質問票」より一部抜粋

医療機関は感染予防対策をとっています。
健康診査を受診するときは、マスクを装着し、手指の消毒を行ってください。
発熱時や体調不良時は、健康診査の受診はお控えください。